

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	上下水道
		基本方針	35. 水の安定供給
施策番号	16-01-①		
施策名	上水道施設の整備更新・耐震化と維持管理		

施策の概要

配水管や導水管、浄水場など、上水道施設の計画的な整備更新と耐震化を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	1日を超える継続した断水件数(件)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	0	0	0
実績値	0	0	0	0

成果指標実績に対するコメント

1日を超える継続した断水件数は0件で、上水道施設の適切な維持管理と更新事業の実施により、老朽配水管等の破損による断水や浄水場の給水停止等の事故もなく、適切に水を供給できた。

施策の達成度評価

水道ビジョンおよび経営計画に基づく、上水道施設の更新および耐震化事業を行った。また、安心・安全でおいしい水の安定供給を図るため、給配水管・浄水場の適切な維持管理を行った。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

計画に基づき基幹管路の耐震化を進めるとともに、老朽化した給配水管の更新および浄水場の耐震工事をを行う。また、上水道施設の維持管理、修繕を適切に行い、安心・安全でおいしい水の安定供給を図る。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
給配水管修繕事業	上下水道施設課	○	適時補修を行い、適切に上水を供給することができた。
浄水場維持管理事業	浄水場	○	安全でおいしい水を安定して供給するために適正な維持管理に努めた。
浄水場施設整備事業	浄水場	○	老朽化した施設や設備を計画的に整備・更新することができた。
配水管更新事業	上下水道施設課	○	水道ビジョンおよび経営計画に基づく更新および耐震化を実施することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
給水管整備更新事業	上下水道施設課
給配水管維持管理事業	上下水道施設課
県水受水事業	浄水場
上水供給事務	浄水場
浄水場運転管理事業	浄水場
浄水場施設管理事業	浄水場
水質検査事業	浄水場
水道台帳管理事業	上下水道施設課
配水管移設事業	上下水道施設課
配水給水事務	上下水道施設課
量水器取替事業	上下水道施設課
路面復旧事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	上下水道
		基本方針	35. 水の安定供給
施策番号	16-01-②		
施策名	上水道事業の健全経営		

施策の概要

経営の効率化を図るとともに、適正な料金設定とし、健全な事業経営を行います。

成果指標(単位)	水の安定供給に不満を感じている市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	3.4	3.1	2.8
実績値	5.8	5.1	5.1	5.0

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、水の安定供給に対して不満を感じている市民の割合は、目標値より2.2%多い状況であったが、前年比では0.1%の減少となっている。これは、水の安定供給に関して市ホームページ等でのPR不足が影響しているものの、引続き料金の10%還元を延長することに対する評価の表れと考える。

施策の達成度評価

平成27年度に経営計画の見直しを行い、コスト抑制や効率化により、低廉で安全な水道水を供給するため、平成23年度より実施している料金の一律10%還元を平成33年度末まで継続実施することとしている。今後は、水需要の減少など水道事業を取り巻く環境の変化を注視しながら、安全・安心でおいしい水の供給と安定した事業経営を継続する必要がある。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

継続実施している料金の一律10%還元や低廉で安全な水道水の周知を通して水需要の喚起など収益確保にかかる取組みをすすめながら、水道事業経営計画の進捗管理を行い、分析と改善の検討を行う。また、老朽水道管の更新実施、震災等に備えたライフラインとしての機能確保を行う。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

安全な水や安定した水の供給への市民意識が高まっている。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水道企画経理事務	上下水道総務課	○	健全な事業経営に努めるため、水道事業全般における適正執行の審査に努めた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
水道総務事務	上下水道総務課
水道料金徴収事務	上下水道総務課
水道啓発事務	上下水道総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

		まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	上下水道
		基本方針	36. 下水道の安定基盤づくり
施策番号	16-02-①		
施策名	下水道施設の整備更新・耐震化と維持管理		

施策の概要

下水道施設の計画的な整備更新と耐震化を進めるとともに、適切な維持管理を行います。

成果指標(単位)	汚水の適正処理に対して不満を感じている市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	5.4	5.1	4.8
実績値	6.5	5.4	4.8	5.7

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「下水道の安定基盤づくり」に対して不満を感じている市民の割合は、前年度より0.9%増加し、目標値を超えているが、全体としての満足度は、比較的高水準にある。下水道長寿命化計画に基づき、平成25年度より着手したマンホール蓋更新工事等が進捗しており、施設の適切な維持管理の可視化が図られていると考えられる。

施策の達成度評価

下水道長寿命化計画、下水道総合地震対策計画に基づき、施設の更新および耐震診断等を実施するとともに、下水道施設の適正な維持管理に努めた。また、農業集落排水の公共下水道接続工事の取り組みを進めた。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

平成29年度に策定する下水道長寿命化計画、総合地震対策計画に基づき、引き続き下水道長寿命化、総合地震対策を進めながら、適正な維持管理に努め、施設の老朽化に対応した良好な下水道サービスを持続的に提供する。また、農業集落排水の公共下水道接続工事を進める。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成28年度の公共下水道普及率は95.9%であり、農業集落排水を含めると普及人口は99.6%である。しかし、整備済の区域においても下水道未接続世帯が残存しており、公共水域等への生活雑排水の流入および浄化槽等機器の整備不良による悪臭等が不満としてあることから、引き続き未接続世帯への水洗化啓発を推進する。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
農業集落排水施設維持管理事業	上下水道施設課	○	計画的な修繕、清掃、また適時必要な改修を実施し、農業集落排水施設の適切な維持管理に努めた。
公共下水道維持管理事業	上下水道施設課	○	計画的な修繕、清掃、また適時必要な改修を実施し、公共下水道施設の適切な維持管理に努めた。
公共下水道整備事業	上下水道施設課	○	未普及解消対策、長寿命化対策(蓋交換)、地震対策について、事業費の範囲内で計画的に実施した。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
下水道推進事務	上下水道総務課
公共下水道使用料賦課徴収事務	上下水道総務課
流域下水道維持管理費負担金事務	上下水道総務課
地方公営企業法適用推進事業	上下水道総務課
公共下水道水質調査事業	上下水道施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策評価シート

施策番号	16-02-②	まちづくりの基本方針	「心地よさ」が感じられるまちへ
		分野	上下水道
		基本方針	36. 下水道の安定基盤づくり
施策名	下水道事業の健全経営		

施策の概要

平成26年度より地方公営企業法を適用し、より経営の効率化を図るとともに、適正な料金設定とし、健全な事業経営を行います。

成果指標(単位)	汚水の適正処理に対して不満を感じている市民の割合(%)			
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
目標値	(※基準値)	5.4	5.1	4.8
実績値	6.5	5.4	4.8	5.7

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、汚水の適正処理に対して不満を感じている市民の割合は、前年度より0.9%増加し、目標値より0.9%多い状況であった。地方公営企業法による財務諸表等を公開し、経営の透明化を図っているが、良好な経営状況を知っていただくため、より一層の周知が必要と考える。

施策の達成度評価

下水道事業について、改築更新の長期見通し、将来の水需要の予測を行い、中長期的な事業計画を盛り込んだシミュレーションのもと、一般会計との負担の区分を行った上で、下水道使用料の適正化、公営企業として安定した経営の継続を目指し、下水道事業第8期経営計画の策定を行った。

評価に基づいた平成30年度取組みについての考え方

下水道事業第8期経営計画において定めたとおり、サービス水準の向上と経営の効率化を行い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指す。

施策実績に影響を与えた外的要因その他特記事項

平成28年度は、事業に影響を与える災害や重大な事故が発生せず、市民が安心して下水道を利用できる環境を、一年を通して提供することができた。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
下水道推進事務費	上下水道総務課 上下水道施設課	○	公営企業会計に基づく事務を適切に執行することができた。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業集落排水施設事務	上下水道総務課
水洗便所改造資金貸付事業	上下水道施設課
受益者負担金等賦課徴収事務	上下水道総務課
公共下水道使用料賦課徴収費	上下水道総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※ 施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。